

# 国際交流のひろば



## 留学生のお花見会

4月10日(日)12時から高田公園にて、多文化交流サークル(まるかる)が中心となり、留学生のお花見会を行いました。留学生、学生、教職員等約20名が参加し、青空と桜の下でお花見を楽しみました。

初めて日本で桜を見た潘燕さん(中国)は「世界でも有名な日本の桜、初めて多くの桜を見ました。風に吹かれて桜は蝶々のように飛んできれいでした。おいしい食べ物も食べました。花見を通して美しい風景を見るだけでなく、皆との関係は深くなりました。」と感想を話していました。



## 留学生オリエンテーション



4月11日(月)12時から人104において、平成28年度留学生オリエンテーションを実施しました。

研究連携課長の進行で、最初に黎国際交流推進センター長から挨拶、次に押木留学生支援専門部会長から「4つの留学生支援方針について」の説明があり、「留学生履修プログラム」「留学生支援に関する役割」「修学・生活上の諸手続き」「宿舎入居の注意」など国際交流チーム主査から説明がありました。

## よろしくお願ひします!

4月に6名の留学生が入学しました。

これにより、本学で学ぶ留学生数は、博士課程の留学生を含めると34名となりました。現在、中国、台湾、フィリピン、チェコからの留学生が在籍しています。

(写真はまだ1名が渡日していないため5名です)



## 中華人民共和国駐新潟総領事館 何平総領事が表敬訪問



4月15日(金)中華人民共和国駐新潟総領事館 何 総領事を始め、張 教育領事、蔣 政治文化領事、常 領事アタッシェの4名の表敬訪問を受け、学長及び留学生との懇談が行われました。

学長との懇談では、両国間の留学希望学生の派遣・受入れや支援方策の在り方等について活発な意見交換が行われました。

また、留学生との懇談では、何 総領事から留学生に「両国間そして上越教育大学との交流発展に寄与できるよう、教育研究に取組んでいただきたい。」と激励の言葉をいただきました。

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば

## 語学教室が始まりました

5月18日(水)から図書館2階情報交流ゾーンにおいて、中国語教室が始まりました。

中国出身の留学生が講師となり、学生、教職員等8名が参加し、学校で外国人児童生徒を迎えた時にも使える簡単な表現や発音などを学んでいます。

毎回、発音を練習しながら、5月は挨拶、自己紹介などを学びました。

この語学教室は全7回行う予定です。



## 留学生等の交通安全教室

5月26日(木)12時から人104において、春の交通安全教室を実施し、留学生、学生、教職員26名が出席しました。

DVDを視聴しながら、自転車の交通ルールや道路での乗り方などについて学びました。

今年度は10月に、上越警察署員をお招きし、秋の交通安全教室を開催する予定です。

## よろしくお願いします!

### 教員研修留学生 デルガード・ヘラ・ジョイ・ラミーゴ (フィリピン)

はじめまして。私はフィリピンの小学校の教師です。2015年10月から2016年3月まで、新潟大学で日本語を勉強しました。4月から1年間、上越教育大学で、音楽教育について勉強します。ここでたくさんのことを学んで、来年、私の国に帰った時、ここで学んだことをフィリピンの学校で生かしたいと思います。時間がある時、好きな映画鑑賞と楽器を演奏します。また、旅行に行って、日本の有名な場所を訪問したいです。よろしくお願いします。



## お知らせ

### 平成28年度第1回留学生が語る／留学生と語る会

日時：6月22日(水) 18:00~19:15

場所：人113室

テーマ：「恋愛」と「結婚」—国による家族観の違いを語ろう—

内容：ラウンドテーブル形式で行います。

「恋愛の相手に求める理想」「結婚に対する考え方」等について語り合います。

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」

TEL:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば

上越教育大学

第173号 2016年6月



## 平成28年度留学生在が語る／留学生と語る会

6月22日(水) 18時から人113において開催しました。

「恋愛」と「結婚」一国による家族観の違いを語るうーというテーマで、留学生支援専門部会の伊藤委員が進行し、留学生4名(喬宏成さん、韓緒さん、白麗萍さん、王代榮さん)と日本人学生2名の語りを糸口として、学内・学外の方々とともに、<理想の結婚相手><結婚の現状>等について語りました。

市民の方々にもお越しいただき、教職員、学生などを含め、約50名の参加がありました。

参加者からは「いろいろな方の考え方を聞いて、自分にとって恋愛観や結婚について考え直す機会になった。」「日本の恋愛観にとらわれてはだめだと思えた。」「オーディエンスの意見が反映されるというシステムが素晴らしい。」などの感想がありました。

途中でボタンを押して意見を募るなど、来場者も参加でき、充実した時間となりました。



## フランスとスイスからお越しの2名の研究者による講演

6月1日(水)にフランスとスイスからお越しの2名の研究者、クザン氏とクリヴァス氏による講演会が実施されました。講演は、以下のように数学教育に関するもので、本学の学生・院生、教職員を始め関心のある学外の方をも対象に、英語で(自然・生活教育学系 宮川 健 准教授による通訳を交え)行われました。講演後には、参加者と数学教育に関して幅広く意見交換を行うなど、海外の研究者と交流を深める貴重な機会となりました。なお、クザン氏は、5月下旬より2ヶ月間の予定で上越教育大学に外国人研究者(日本学術振興会 外国人特別研究員)として滞在中です。

講演者：マリオン・クザン (Marion COUSIN)

(パリ 第7大学SPHERE研究所)

題 目：明治期における幾何学教科書：書物と数学教育の革新の証拠

講演者：ステファン・クリヴァス (Stéphane CLIVAZ)

(スイス ローザンヌ教育大学)

題 目：指導のための数学的知識：授業研究におけるその発展の分析



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」

TEL:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)





## 国立嘉義大学 附属小学校 林淑娟 先生の講演会



7月31日(日)から8月7日(日)までの期間、本学の交流協定校である台湾・国立嘉義大学附属小学校の林淑娟(Lin Shu-Chuan (Vivian))先生が、本学及び附属小学校・市内小学校との交流・視察のため訪問され、8月2日(火)14時40分から人文棟L1教室において、「台湾の初等・中等学校における国際教育」について英語による講演をいただきました。

## 日本文化・歴史体験及び地域交流に関する研修

8月9日(火)10日(水)石川県金沢市に外国人留学生が研修に行きました。留学生に日本文化・歴史体験を通し、地域の交流と日本人学生との交流の機会を提供することが目的です。

金沢城、兼六園、からくり記念館、中村記念美術館などを見学し、伝統工芸村では体験をしました。

参加した寧文顔さん(中国)は、「大都市と違って歴史感がある金沢に行って、日本の伝統文化を十分に味わうことができました。江戸時代の居城—金沢城や特別名勝としての兼六園などを見学して、古人の師匠の知恵に感心しました。もっと日本文化を知りたいと思いました。」と感想を話していました。



からくり記念館にて



## 国立嘉義大学(台湾)の本学訪問

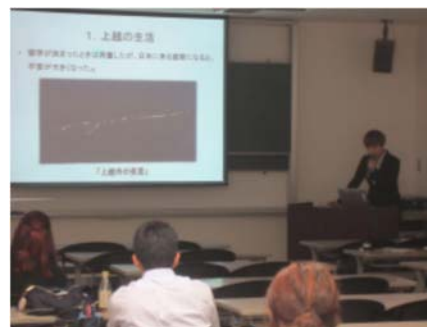
8月18日(木)本学と交流協定を締結している台湾の国立嘉義大学から教員及び大学院学生が来学しました。

午前は附属学校の視察及び上越市内見学、午後は大学において佐藤学長、林副学長が本学及び本学教員養成プログラム、就職状況等の概要説明を行い、本学学生との交流や意見交換などを行いました。

## 平成28年度短期外国人留学生成果発表会

8月23日(火)13時30分から人文棟113教室において、平成27年10月～平成28年9月までの期間、本学協定校から交換留学生として学んでいる4名及び日本語・日本文化研修留学生2名の計6名が、日本での留学生活と本学での学習成果について発表しました。

発表後、劉瑩さん(哈爾濱師範大学)は「発表した6人は、ここに来たばかりの時からみて成長したと思います。それに感動しました。この1年間、助けてくれた皆さんにありがとうと伝えたいです。」と感想を話していました。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
TEL:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)

# 国際交流のひろば

上越教育大学

## 平成29年度各種奨学金に関する説明会

7月6日(水)12時から人104教室において、私費外国人留学生を対象に、平成29年度各種奨学金に関する説明会を行いました。

外国人留学生の修学を支援することを目的とした「ロータリー米山記念奨学金」「平和中島財団奨学金」「国費外国人留学生(研究留学生)」等の奨学金の募集要項や応募の仕方について白岩留学生支援専門部会員から、書類の書き方等について国際交流チーム主査から説明がありました。

参加した留学生は熱心に耳を傾けていました。



## 国際交流七夕茶会



7月7日(木)19時から大学会館第2集会室において、本学茶道クラブが主催する「国際交流七夕茶会」に外国人留学生が招待されました。

当日は、留学生の他、佐藤学長、小杉理事、黎センター長も参加され、茶道クラブの学生からお茶の飲み方を習い、お点前をいただいた後、短冊に願い事を書いて笹に飾り付けをする体験をしました。

参加した周勝男さん(中国)は「日本の茶道を初めて体験してました。またこのような日本の伝統的な文化体験を試みたいと思いました」と感想を話していました。

## 国際ロータリー第2560地区インターアクト年次大会に参加

7月16日(土)17日(日)妙高市において、国際ロータリー第2560地区が主催するインターアクト年次大会が行われ、外国人留学生7名が参加しました。

妙高地域を中心に県内高校生150名と一緒に地域の魅力を発掘するイベントです。

一日目は、留学生と高校生の各グループごとに、苗名滝、黄金の湯、笹ヶ峰、いもり池、スカイケーブル、ハートランド妙高、源流体験、野尻湖、赤倉温泉街などを探索し、各所の魅力について発表資料を作成するグループワークを行い、2日目の全体会で発表しました。留学生は高校生のサポート役として頑張りました。



源流体験



## 平成28年度夏休みの宿題教室

7月22日(金)17時30分から、23日(土)9時から人213、214、113教室において、外国人児童生徒への修学支援プロジェクトにおける夏休みの宿題教室を実施しました。

外国人留学生及び日本人学生13名が支援者として参加し、外国につながる上越地域の児童生徒を対象に、夏休みの宿題で1人では取り組むことが難しい部分を中心に行いました。当日は、11名の小中学生が参加しました。

また23日(土)11時から人113において、講演会と勉強会も開催しました。

第一部の講演会は「二つの言語と文化で育った私～悩んだこと・支えになったこと」をテーマに藤山広美エリカ氏(大阪大学院生)から、第二部の勉強会は「子どもたちの母文化を取り入れた母語と日本語による学習支援の試み」をテーマに滑川恵理子氏(立命館大学及び大阪大学非常勤講師)から外国人児童生徒のルーツの文化を取り入れた、母語と日本語による学習支援の方法について、事例と実践を交えてお話いただきました。

宿題教室



勉強会&講演会



## 上越祭り大民踊流しに参加



7月25日(月)に行われた上越祭り大民踊流しに外国人留学生7名が参加しました。

浴衣を着るのは初めてという学生が多く、民踊流しの列の中で張り切って踊っていました。

参加した張瑶さん(中国)は「初めて日本の祭りに参加して、浴衣を着て、思い出を作りました。日本人、中国人、チェコ人など、まるで一つの家族のように、一緒に笑ったり、踊ったりして、本当に楽しかったです。また今度も参加したいです」と感想を話していました。

## 平成28年度留学説明会

7月29日(金)13時15分から人114教室において、日本人学生を対象に、本学と協定を締結しているアメリカ(アイオワ大学)、中国(哈爾濱師範大学、内蒙古民族大学)、台湾(国立新竹教育大学、国立嘉義大学)、韓国(韓国教員大学校)、チェコ(カレル大学)等の大学についての情報提供を目的とした留学説明会を開催しました。

また、「JASSO海外留学支援制度(協定派遣)」「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」などの奨学金制度についても説明がありました。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば

## 平成28年度短期外国人留学生修了証書授与式

9月5日(月)13時30分から大会議室にて短期留学生修了証書授与式を執り行いました。

昨年10月から特別聴講学生として留学した中国協定校からの4名と日本語・日本文化研修留学生2名に、学長から修了証書が授与されました。

1年間の留学を無事に終え、ほっとした様子でそれぞれ進学や帰国をされました。



### 日本語・日本文化研修留学生 ギーブローバ・アデーラ (チェコ)

いつか日本に来るのが私の大きな夢でした。そして、日本に留学するチャンスを得て、とてもありがたいです。上越教育大学での一年間は時々大変でしたが、私にとって特別な経験でした。日本の大学の授業に出たり、若者の日本語を聞いたり、しゃべってみたり、日本人の考え方が更に分かるようになったと思います。

困ったとき、大学のスタッフと先生たちにお世話になって、いつも助けてくれました。指導教員の下西先生のアドバイスのおかげで、研究を進めることができ、視野が広がりました。

たくさんの優しい人々と出会い、面白いことやばかなことについても話しました。その人々の中で大事な友達を見つけることもできて、とてもありがたい気持ちです。私は4つの季節にわたって田舎で生活をして、上越にとっても慣れました。私の心に合う場所だと思います。

チェコに戻ったら、ここでできた大切な思い出や経験を皆に教えたいと思います。

## 修了生からの手紙

平成28年3月に教員研修留学生を修了し、現在、フィリピンの高校で数学教師としてご活躍されているコンソラシオン・チャーリーさんからお手紙が届きました。

### 平成27年度 教員研修留学生 コンソラシオン・チャーリー (フィリピン)

お元気ですか。1年間、上越教育大学でたくさんのことを学びました。私が上越で過ごした間、すべての経験したことを今でもよく思い出します。私の指導教員の宮川先生はいつも親切に指導してくださいました。また、国際交流チームのスタッフや私を助けてくれた上越市の方々や友達にも、本当に感謝しています。

いつも私はフィリピンで、私の学校の教師や学生に、私の日本での経験や学んだことを話します。時々、簡単な日本語を教えたりもします。みんなは興味深く聞いて、日本の生活を経験してみたいと言います。私ももし将来チャンスがあったら、日本に戻って、もっと日本文化や言葉を勉強したいです。また、いつかみなさんにお会いできる日を楽しみにしています。みなさん、お元気で！



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)

# 国際交流のひろば

## 留学生オリエンテーション

10月12日(水) 12時から人104において、10月入学生を対象とした留学生オリエンテーションを実施しました。

研究連携課長の進行で、最初に黎国際交流推進センター長から挨拶、次に押木留学生支援専門部会長から「4つの留学生支援方針について」、国際交流チーム主査から「留学生履修プログラム」「留学生支援に関する役割」「修学・生活上の諸手続き」「宿舎入居の注意」、最後に研究連携課副課長から「研究不正について」説明がありました。



## 新入生です。よろしくお願いします!

10月に、研究生7名、特別聴講学生(本学協定校から)7名の計14名の留学生が入学しました。

これにより、本学で学ぶ留学生数は、博士課程の留学生を含めると42名となりました。現在、中国、台湾、フィリピンからの留学生が在籍しています。

### 日本語・日本文化研修留学生 朱 腊梅(中国)

みなさん、こんにちは。ハルピン師範大学からの留学生、朱 腊梅(しゅ・ろうばい)と申します。初めて上越市に着いた時、ホラー映画の中でしか見た事がない、上越市のカラスの数にびっくりしました。

私は子供の時からアニメを通じて、日本語を好きになりました。中国の大学で日本語を専攻として勉強しているうちに、茶道、書道、花道、武士道、おもてなし…などの日本文化に出会い、和の美しさに感動して、日本へ留学することは夢となりました。

そして、夢の一つが叶いました。今、嬉しさを前へ進む力にかえて、上越教育大学の学生の一員として、頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

## カレル大学 マリエ・フルコヴァ先生の講演会

本学協定校のチェコ、プラハのカレル大学から外国人研究者招へい事業で、10月3日から15日間、外国人研究者としてマリエ・フルコヴァ先生をお招きしました。

「美術教育における教育プロセスの図像化—生きているアールヌーボー1900年: 関連性と文脈に関する研究」をテーマに、10月7日(金) 16:30~美401において、12日(水) 16:20~人104において、2回の講演を行っていただきました。





## 東アジア教員養成国際シンポジウムの開催

平成28年10月17日（月）、18日（火）に、中国・華中師範大学において「東アジア教員養成国際シンポジウム」が開催され、本学から、佐藤学長、林副学長、黎国際交流推進センター長が出席しました。

このシンポジウムは、平成21年に43の東アジア地域の教員養成系大学・学部の学長等が集い、域内相互の国際交流の円滑な推進を図ることを目的に結成された「東アジア教員養成国際コンソーシアム」の中核的な活動として、今回で11回目の開催となりました。

シンポジウムの総長会議では、今後のコンソーシアムの在り方や発展の方向性、具体的な取り組み等について、活発な意見交換が行われた他、参加各大学との交流の機会を活用して、ホスト校の華中師範大学や中国・西南大学等の参加大学と、今後の本学との教育研究、学生交流の可能性等について有意義な情報交換を行うことができました。

また、今回のシンポジウムでは、本学の特別支援教育コースに研究生として中国から留学中の付成（ふ・せい）さんも参加し、「Database in Special Supportive Education and the Influence on Teacher Training in Japan」に関して研究発表を行いました。



総長会議の様子



西南大学との交流



西南大学国際合作与交流所長と情報交換する  
林副学長



研究発表を行う付成さん

## 「海外との研究交流事業」の取り組み紹介

高石 次郎 教授（芸術系教育実践コース（美術））が、今年8月にタイのバンコクにおいて行った取り組みの紹介です。

バンコクでは毎年、国際的な聾週間（9／26～10／1）に合わせて、タイ国女王陛下（王室）支援による国際学会など様々なイベントが開催されます。

このイベントにおいて、王立セサティアン聾学校の児童・生徒と教員が造形作品を作って美術館等に展示することとなり、その作品制作に際しての指導等の依頼を受け、粘土を使ったワークショップを行うなど、児童・生徒、教員との交流を行ってきました。

- 日時／題材：8月15日（月） 午前／「LOVEの手を作ろう」  
午後／「友達の顔を作ろう」
- 場 所：タイ バンコク 王立セサティアン聾学校
- 対 象：幼稚園児から高校生まで 約150人
- 作品展示：美術館 Bangkok Art and Cultural Center（8／30～9／2）  
スワンドシット大学 ギャラリー（9／30～10／1）（国際聾教育学会と同時開催）

粘土を使った造形が言葉を越えたコミュニケーションを可能にし、このノンバーバルなコミュニケーションは美術の活動の特徴であることを実感しました。その結果、児童・生徒及び教員から感謝されると共に、日本と異なる文化の中での共通する部分や異なる部分に出会えたことは、今後の美術教育に役立つものと考えています。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
TEL:025-521-3666（研究連携課 国際交流チーム）



# 国際交流のひろば



## 留学生が大学祭で出店しました

10月29日(土)30日(日)の大学祭で、多文化交流サークル「まるかる」が出店しました。代表の白さんに感想文を寄せてもらいました。

### 大学院2年 言語系コース(国語) 白麗萍(中国)

ジャージャンメンを作りました。売上は少なかったが、いい経験になりました。最初、みんなは心配でした。ジャージャンメンを作るのは初めてだし、本場の味についてそれぞれの意見を持っていました。しかし最後に日本人の口に合うようなものができました。2回も買うお客さんもいました。それは、私たちにとって、とても嬉しかったです。

今年は雨でしたが、みんなの協力で無事に出店しました。寒い天気の中で、みんなと一緒にいい思い出になりました。また、応援してくださった先生たちにも感謝しています。来年の大学祭も期待します。



## 外国人児童生徒への修学支援プロジェクト 勉強会 国際理解ワークショップ「あなたのメガネはどんな眼鏡？」



10月30日(大学祭2日目)13時から、第2講義棟104教室において、国際交流インストラクター(新潟県国際交流協会から任命された本学の学生)による国際理解ワークショップを実施しました。

「異文化理解クイズ」やピラミッドランキングの作成などを通じ、多様な文化や価値観を学ぶ機会となりました。参加者からは、「クイズ形式だったので楽しめた」、「考え方が広がった」、「様々な文化の違いと見方について学べた」などの感想が寄せられました。

## 留学生等の交通安全教室

11月2日(水)16時から大会議室において交通安全教室を実施し、留学生、日本人学生、教職員等38名が出席しました。

押木留学生支援専門部会長の挨拶の後、上越警察署交通課及び警備課職員による交通安全指導等、主に自転車のルールを中心とした道路での交通の仕方や身近な犯罪などについてお話がありました。

参加した学生は熱心に耳を傾けていました。

今年度は、春と秋の2回、交通安全教室を実施しました。



## 学長と平成28年度入学留学生との懇談会

11月9日（水）12時から大会議室において平成28年度に入学した留学生を対象とした学長との懇談会を実施しました。

学長、理事、副学長、留学生指導教員、留学生支援専門部会委員と留学生が出席しました。

留学生の自己紹介、学長からの歓迎と励ましの言葉があり、昼食をとりながら日本での留學生活の様子や出身国の話、本学で学んでいることの感想など和やかに懇談が行われました。



## J. TEST 実用日本語検定の受験

11月12日（土）本学において、留学生37名がJ. TEST 実用日本語検定を受験しました。

この試験は留学生の日本語能力を公正かつ客観的に評価し、今後の留学生に対する日本語支援に役立てることを目的に実施しています。留学生が受験したものは中級～上級者向けで、点数により能力を特A～D級に判定します。難易度は毎回一定のため、毎年受験することによって日本語力の進歩が分かります。

## 世界を語ろう!

11月16日から12月14日までの毎週水曜日のランチタイムに「世界を語ろう!」を行っています。留学生交流プラザに留学生、日本人学生、教職員が集まり、世界の文化・生活・言葉…などについて一緒におしゃべりしながら交流します。

1回目は魏同塵さんによる「西安～秘められた千年の美」、2回目は野村一誠さんによる「ベトナム・カンボジア・タイ・マレーシア・シンガポール・ブルネイ・キューバを旅して」の話題で行いました。今年は全4回行う予定です。



11/16 西安～秘められた千年の美



11/30 ベトナム・カンボジア・タイ・マレーシア・シンガポール・ブルネイ・キューバを旅して

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666（研究連携課 国際交流チーム）





# 国際交流のひろば

## 平成28年度「海外教育(特別)(実践)研究C(韓国)」報告会

12月8日(木)12時から人104において、「海外教育(特別)(実践)研究C(韓国)」の報告会を行いました。

今年度開講した「海外教育(特別)(実践)研究C(韓国)」の海外研修は9月23日から30日の8日間、本学の協定校である韓国教員大学校等で行いました。報告会では韓国での授業実践や体験について参加した学生が発表しました。



## 外国人留学生との意見交換会



12月14日(水)16時30分から大会議室において、外国人留学生との意見交換会を実施し、留学生、チューター、教職員など約50人が出席しました。

留学生支援専門部会の白岩部会委員が司会進行し、黎国際交流推進センター長の挨拶に続き、小グループごとに意見交換を行いました。留学生からは生活、勉強など様々な意見が出されました。この会で得た意見は今後の留学生支援につなげていきます。

## 世界を語ろう!

11月16日から12月14日までの毎週水曜日のランチタイムに留学生交流プラザで「世界を語ろう!」を行い、留学生、学生、教職員が交流しました。

12/7はデルガド・ヘラさんによる「Pearl of the orient seas-東洋の真珠」、12/14は橋本健さんによる「「プラハ」という名の大海原」の話題で行いました。



12/7 フィリピン



12/14 チェコ

## 外国人児童生徒への修学支援プロジェクト「冬休みの宿題教室」

12月22日(木)16時30分~19時30分、人213、214において、冬休みの宿題教室を実施しました。これは、平成28年度上越教育大学地域貢献事業「外国人児童生徒への修学支援プロジェクト」によるもので、上越市及び上越近隣地域在住の外国にルーツをもつ児童生徒を対象に支援するものです。

小中学生が持参した冬休みの宿題の中で、一人では取り組むことが難しい部分を中心に取り組みました。



## J. TEST 実用日本語検定の講評

12月16日(金)人104において、J. TEST 実用日本語検定の結果通知と講評を行いました。これは、11月12日(土)本学において留学生36名が受検したのものによるものです。

最初に認定証を配付し、留学生支援専門部会員の田島部会委員から講評を行いました。

この試験は1000点満点で点数によって能力を特A～D級に判定され、36名の内、特A級(930点以上)が1名、A級(900点以上)が3名いました。

## 「海外との研究交流事業」の取り組み紹介

生活・健康系教育実践コース「家庭」の佐藤ゆかり准教授と吉澤千夏准教授から、平成28年8月に韓国の大田市で開催された国際家政学会に参加した際の寄稿をいただきましたので紹介します。

IFHE World Congress2016(国際家政学会)に参加してきました。韓国への渡航経験はあるものの、ソウル以外の街に行くのは初めて。仁川空港から学会会場となる大田へは高速バスで3時間程度。鼻歌まじりに高速道路を爆走する運転手さんのすぐ後ろに陣取り、景色を眺めているうちに、大田に到着!

学会参加初日には、華麗なオープニングセレモニーが催され、さらにkeynote sessionでは、今大会のテーマ“Hope & Happiness”に関する講演がありました。国は違えど、生活を“Hope”し、“Happiness”を願う気持ちは皆同じ。当たり前のことですが、大事なことを実感する時間になりました。

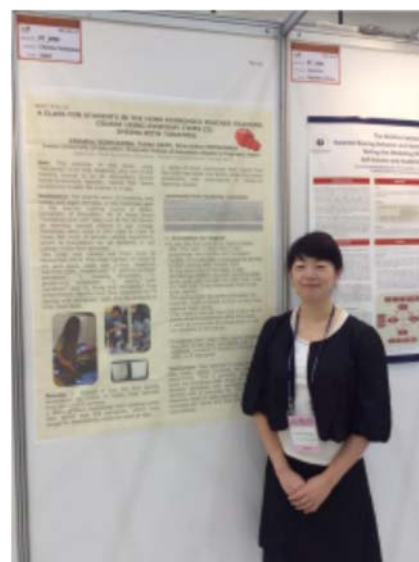
ポスター会場では、韓国文化を紹介するブースが立ち並び、国際家政学会らしく、衣食住の文化や家族・女性の保護を目的とした団体の紹介など、大変興味深く拝見。また、口頭発表では、熱心に議論が交わされ、たくさんの刺激を得ることができました。

そしてそれ以上に印象深かったのは、地元の方々のやさしさでした。せっかく大田に来たのだから!とって、ホテルでローカルなおいしいお店を教えていただいたものの、お店の方は日本語がわからず、こちらは韓国語を解せず、ハングルも読めない…。こんな状態の中でも、皆さんあたたかな笑顔で私たちを迎え入れ、言葉にならぬ言葉でコミュニケーション!またある日は、学会会場で出会ったボランティアの学生さんが、タクシーに乗り込んで、ナビ操作までしてくださいました。そして最終日、仁川空港行のバスターミナルで、チケットが買えずに困っていた私たちに「日本の方ですか?」と天使の声が!チケット購入をサポートしてくれたのは、日本留学経験のある学生さんでした。学会参加はもちろんですが、そこに暮らす方々の心に触れ、もっともっと韓国を知りたいと思うようになりました。

学会での海外渡航を通して、様々なことを考え、学ぶことができた5日間。このような機会がまた訪れますように。



ポスター発表する  
佐藤ゆかり准教授



ポスター発表する  
吉澤千夏准教授

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666(研究連携課 国際交流チーム)





# 国際交流のひろば



上越教育大学

第180号 2017年1月



## 新潟県内大学留学生ふれあい事業による留学生の派遣

新潟県からの協力依頼により、今年度、高田高校及び松代高校に留学生を派遣しました。

この事業は世界各地から県内の大学に留学している学生と県立高校等の生徒が英語を使って交流活動することにより、日本や外国の文化や伝統などに対する理解を深め、世界に対する視野を広げるとともに、コミュニケーションツールとしての英語に対する学習意欲の向上を図ることが目的です。

本学からは5名の留学生が参加し、英語で自国を紹介するプレゼンテーションを行ったり、設定されたテーマで生徒とのグループディスカッションを行うなどの活動を行いました。

参加した留学生は日本の教育現場を見ることができて勉強になったと感想を話していました。



高田高校にて

## 外国人研究者「高 鵬飛先生」の紹介

平成28年12月1日～平成29年2月28日まで、外国人研究者として「高 鵬飛(ガオ ポンフェ)先生」が本学を訪問し、研究に従事されています。高先生は中国黒竜江省のハルビン理工大学日本語学部の教授として勤務されており、主に夏目漱石の文学研究に取り組みされる他、現在中国の国家教育部プロジェクト「二十世紀日本文芸批評理論研究」を担当されています。本学滞在中は「アニメを活用した日本語教育」に関して、受入担当教員の田島弘司准教授(学校教育学系)と共同研究を進めると共に、個人の課題研究に関する日本における先行研究等の調査、整理の他、ゼミ、講義等に参加されるなど、日本語、日本語教育、日本文学、文芸批評等の知識及び理論の探究に取り組まれています。

長年の小さな夢を実現しました。

13年前の2004年の今頃、田島弘司先生に招かれ、初めて上越教育大学を訪問したことがあります。その時、賑やかな東京から日本海側にある上越市にやってきて、その静かさが大好きになりました。山沿いに建てられた大学のイメージも格別で、学術講演会だけではなく、その次の日の赤倉野外活動施設での一日、特に初めて田島弘司先生に誘われてスキーを体験したことも印象深かったのです。

今回、再び上越教育大学を訪問できたことは、実は長年心のそこに抱いていた夢でした。仕事の忙しさで、なかなかスケジュールを立てる余裕がなく、ようやく実現できた訪問であり、上越教育大学で短い時間でも生まれ変わったような本格的な学習と研究をしようと思いました。

上越教育大学に来て既に一ヶ月以上になりましたが、この間、田島弘司先生と小埜裕二先生の授業とゼミなどで日本語教育法と小川未明の文学についていろいろ大変いい勉強になりました。新年を迎える去年の12月末頃、曹洞宗の林泉寺で座禅をしてみました。1月22日(日)には、13年ぶりに再び赤倉野外活動施設にも訪れて、以前と全然変わらない風景に感動しました。残るあと一ヶ月の時間も更に充実して過ごしたいと思います。よろしく願いいたします。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば

## 平成28年度第2回留学生が語る／留学生と語る会

2月7日（火）13時30分から調理学実習室において、今年度第2回留学生が語る・留学生と語る会を実施し、上越の食をテーマに作って、食べて、語り合いました。

留学生、日本人学生、教職員23名が参加し、スキー汁、サメカツを料理研究家の井部真理さんに教わりながら調理しました。

参加した留学生は「スキー汁の味付けは、味噌だけなのに、こんなに美味しくなって驚いた」「サメは初めて食べた」など感想を話していました。



## 短期留学生の附属小学校授業参観



調理実習も参観しました

2月15日（水）本学附属小学校において、短期外国人留学生5名が授業参観をしました。

これは海外の協定校からの短期留学生及び日本語・日本文化研修留学生に母国の教育制度と比較し、日本の教育事情を理解してもらうことを目的として実施しているものです。

劉森云さん（中国）は「大学のおかげで小学校を参観しました。日本の小学校教員は全部の授業をしていることやクラスごとに違った実践テーマもやっていることを聞いて、本当に驚きました。感心したことは、中国でも有名な日本の給食制度です。毎日栄養のバランスを保ち、小学生の成長に大変役立つと思います。より良い教育のため、私の国も日本のような教育を受け入れるべきだと考えます。」と感想を話していました。

## 平成28年度外国人留学生成果発表会

2月20日（月）13時15分から人113において、平成28年度外国人留学生成果発表会を実施しました。

発表者は3月修了予定のデルガード・ヘラ・ジョイ・ラミーゴさん（フィリピン、音楽、教員研修留学生）、付成さん（中国、特別支援教育、研究留学生）、曾勤智さん（台湾、グローバル・ICT・学習研究、研究生）、白麗萍さん（中国、国語、M2）です。

4名の留学生は、それぞれ、日本での留学生活と本学での研究成果について発表しました。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666（研究連携課 国際交流チーム）



# 国際交流のひろば



## 平成28年度上越教育大学国際交流のつどい

3月1日(水)16時30分から本学第一食堂において開催し、上越市、上越国際交流協会、近郊のロータリークラブ、上越青年会議所、本学振興協力会など、日ごろ交流のある地域団体の方々と本学関係者から約80人の参加がありました。この会は、本学留学生にご支援をいただいている地域の方々と本学教職員及び留学生等が意見交換を行い、本学の国際交流推進に役立てるとともに相互の親睦を深めることが目的です。

留学生と関わりを持つ多くの方からご意見をいただき、それぞれが交流を深める機会となりました。



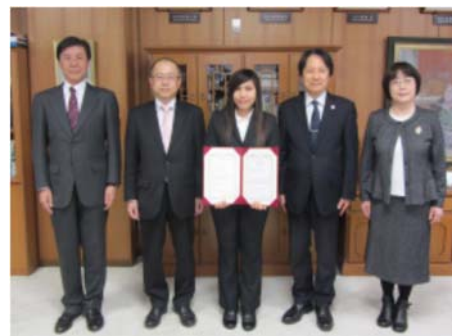
## 留学生スキーのつどい

3月9日(木)10日(金)の一泊二日、赤倉観光リゾートスキー場にて実施しました。スキー発祥の地である上越の地域性を生かし、留学生がスキーを体験するとともに、スキー実習を通して留学生相互及び教職員・学生との親睦を図ることが目的です。参加した張暁旭さん(中国)は「2日間、先生方のご指導のおかげで、楽しく滑れるようになりました。私たちは、また来年も楽しみにしています」と感想を話していました。

## 教員研修留学生修了授与式

3月14日(火)10時から学長室にて、教員研修留学生のデルガード・ヘラ・ジョイ・ラミーゴさん(フィリピン)に修了証書が授与されました。

ヘラさんは「1年間、先生やクラスメートから沢山のことを学びました。文部科学省と私を受け入れてくれた上越教育大学に感謝しています。」と感想を話しました。



## 修了生記念品贈呈式

3月14日(火)10時15分から学長室にて、3月に修了する大学院生4名に対し、学長から記念品が贈呈されました。

楊震さん(中国)は「3年間お世話になりました。最近、上越教育大学でのいろいろなことを思い出します。いつも私たちのためにいろいろなことを準備してくださり、ありがとうございました。」とお礼の言葉を述べていました。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)